

**i**CON

# QCon Pro X

モーター式フェーダー内蔵、音楽制作用  
MIDI/ オーディオコントロールサーフェス



ユーザーズマニュアル



CE FC



N1630



## 警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

### 安全のための注意事項を守る

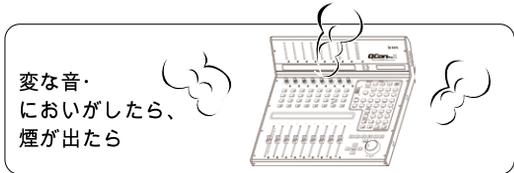
この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

### 故障したら使わない

本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのにお気づきの場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理をご依頼ください。

### 万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にて修理を依頼する



### 警告表示の意

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

<p><b>警告</b></p> <p>この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じることがあります</p>	<p><b>注意</b></p> <p>この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えたりすることがあります。</p>	<table border="1"> <tr> <td>注意を促す記号</td> <td>火災 </td> <td>感電 </td> <td>指み </td> </tr> <tr> <td>行為を禁止する記号</td> <td>禁止 </td> <td>分解禁止 </td> <td>接禁止 </td> </tr> <tr> <td>行為を指示する記号</td> <td>プラグをコンセントから抜く </td> <td>強制 </td> <td></td> </tr> </table>	注意を促す記号	火災	感電	指み	行為を禁止する記号	禁止	分解禁止	接禁止	行為を指示する記号	プラグをコンセントから抜く	強制	
注意を促す記号	火災	感電	指み											
行為を禁止する記号	禁止	分解禁止	接禁止											
行為を指示する記号	プラグをコンセントから抜く	強制												

**警告** 下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの となります。

### 分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていないので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

# 内容

はじめに.....	4
付属品をご確認ください.....	4
機能.....	5
上面パネルレイアウト.....	7
サイドパネルのレイアウト.....	12
使用法 QconPro X コントローラの接続.....	13
Cubase.....	15
Nuendo.....	16
Logic Pro.....	17
Samplitude.....	18
Bitwig.....	20
Reason.....	21
Reaper.....	22
Studio One.....	23
Ableton Live.....	24
Pro Tools.....	25
Mac OS X に iMap™ をインストールする.....	27
Windows に iMap™ をインストールする.....	28
iMap™ による DAW モードの割り当て (Mackie Control/HUI) または MIDI 機能の定義 ...	30
iMap™ を使った DAW モード (Mackie control/HUI) の割り当て.....	31
iMap™ を使用したユーザー定義モードでの MIDI メッセージの割り当て.....	33
ユーザー定義モードでの制御エレメント設定.....	35
iMap™ のその他の機能.....	37
ファームウェアのアップグレード.....	38
デフォルト工場設定に戻す.....	40
製品仕様.....	41
修理について.....	42

# はじめに

ICON QconPro X MIDI/ オーディオコントロールサーフィスーをお買い上げいただき、ありがとうございます。弊社はお客様に本製品を末永く御愛用いただけるものと確信いたしておりますが、万一お客様にご満足いただけない場合でも、ご満足いただけるよう努めて参ります。

本書には、QconPro X MIDI/ オーディオコントロールサーフィスの特徴、フロントパネル、サイドパネルの詳しい解説と、設定方法、使用方法、そして主要諸元が記載されています。

また、同梱の製品保証書にご記入の上投函していただきますと、www.iconproaudio.comにてオンラインサポートをご利用いただけるようになります。保証書のご送付後には、本製品のほか、ICON 製品に関する最新情報をお届けします。他の電子製品と同様、本製品につきましても御購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万が一修理のため本製品を弊社に返送していただく必要がある場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

照会用シリアルナンバー：

ご購入店舗名：

ご購入日：

## 付属品をご確認ください

- QconPro X USB MIDI コントローラー x 1 個
- CD 1 枚  
アプリケーションソフトウェア – iMap (Mac および Windows)  
取扱説明書およびクイック サポート ガイド  
DAW ソフトウェア – Samplitude Pro X2 シルバー ICON 版
- Quick Start Guide x 1
- USB2.0 ケーブル x 1
- 電源アダプター x 1pc

# 機能



- 10ビットの解像度を持つ8タッチセンス付きモータライズチャンネルフェーダー
- 10ビットの解像度を持つマスターチャンネル用1タッチセンス付きモータライズフェーダー
- チャンネル(モノ)とマスターチャンネル(ステレオ)レベルメーター用に装備された12セグメントLEDレベルメーターブリッジ(見やすいように画面上部に斜めに取り付けられています)
- デュアル機能エンコーダーつまみ(入力して回す)8個
- マルチカラーサラウンドLEDディスプレイは、コントロールしやすいように制御パラメーターに応じて色が変わります(Cubaseのみ)
- 回転方向表示用の、エンコーダー周囲の11セグメントLED
- 2個のバックライト付大型LCDディスプレイは、チャンネル名(下側LCD)および各チャンネルの異なる制御パラメーター(上部LCD)を表示します
- SMPTEまたはBBTフォーマットで、プロジェクトの時間ロケーションを表示する12セグメントLEDディスプレイ。
- 高速検索およびコントロール用ジョグホイールシャトル
- 録音、ソロ、ミュート、セレクター、モニターを含む、各チャンネル用照明式ボタン
- 再生、停止、録音、巻戻し、早送り、ループを含む、照明式トランスポートボタン6個
- 4個の方向キーのある照明式ズームキー
- 割当可能な照明式MIDI機能ボタン9個
- Qcon Pro XSを3台使用することにより、32チャンネルまでのコントロール・パネルに拡張可能。
- 3つのUSB拡張ポート付属
- ジョイスティック、追加ボタン、つまみなど、異なる拡張制御装置(モジュール)が利用可能(オプション)
- ペダル接続用のユーザーAおよびユーザーB用RCAコネクター

- Windows XP、Vista (32ビット)、Windows 7 (32ビットおよび64ビット)、Windows 8 (32ビットおよび64ビット)、Windows 10(64ビット)、Mac OS X (IntelMac) クラス・コンプライアント
- 高速 USB 2.0 対応
- Cubase、Nuendo、Samplitude、Logic Pro、Reaper、Bitwig、Studio One、Ableton Live 用のコントローラ Mackie ル内蔵
- Pro Tool 用の内蔵の Mackie HUI プロトコル
- DAW 自動検出モードまたは DAW 手動選択モード用のハードウェアスイッチ
- DAW 自動検出モードで DAW 設定に合わせて動作させるために、Cubase/Nuendo、Samplitude、Logic Pro、Reaper、Studio One、Bitwig、Reason、Ableton Live、Pro Tools などの DAW アルミパネルもオプションとして利用可能です。
- Cubase/Nuendo、Samplitude、Logic Pro、Reaper、Studio One、Bitwig、Reason、Ableton Live、Pro Tools など、各種 DAW PVC オーバーレイが付属しています。
- ICON の「クイックセットアップ」ドライバーは、Cubase、Nuendo、Reasons、Bitwig でのインスタントプラグアンドプレイに使用できます。
- iMap -セルフ MIDI マッピングソフトウェアが、ユーザー定義モード用に提供されます (MIDI 学習)
- USB 接続と iMap ソフトウェアで簡単にファームウェア・アップグレードが可能。
- 製造品質に優れた、Kensington ロックポート搭載の堅牢なメタルケーシング
- 12V/2.5A 電源アダプター付属

# 上面パネルレイアウト



**注意:** DAW によって機能がわずかに異なることがあります。各機能については DAW の取扱説明書をご覧ください。ご使用の DAW に合わせて添付のラベルテンプレートを重ね合わせてください。以下の説明は、Apple Logic™ の動作機能に基づいています。

## 1. 上側 LCD ディスプレイ

2 行表示の LCD ディスプレイには、調整中のパラメータ値や、チャンネル選択や動作モードなどに関するフィードバックが表示されます。

## 2. 下側 LCD ディスプレイ

2 行バックライト付 LCD ディスプレイは、チャンネル名を表示します。

## 3a. Channel faders

DAW のトラックの音量コントロールには、普通、8 個の 100mm モーター式フェーダーを使用します。DAW によっては、「フリップ」ボタンでフェーダーの機能を切り替えて、別の設定に変更することができます。このフェーダーはタッチセンシティブですので、手を触れた瞬間に自動設定に割り込むことができます。また、フェーダーはモーター駆動式なので、DAW アプリケーションで選択したチャンネルの現在のレベルに応じて、自動的

に移動します。プロジェクトの自動録音設定が、フェーダー位置に反映されます。フェーダーでパラメータを調整すると、そのすぐ上にある LCD ディスプレイに表示されます (上側 LCD)。

### 3b. Master fader

このモーター式 100mm フェーダーも、他の 8 個のフェーダーと同様に動作します。これは、お使いの DAW ソフトウェアのマスターチャンネルフェーダーをコントロールします。このフェーダーでパラメータを調整すると、そのすぐ上にある LCD ディスプレイに表示されます (上側 LCD)。

**注意:** Pro Tools 限定 – Pro Tools ソフトウェアは最後のチャンネルフェーダーの隣りにあるフェーダーが、常にマスターチャンネルフェーダーとして動作するように設計されています。

### 4. チャンネルレベルメーターリング (モノ)

12 個の LED が関連チャンネルのレベルを表示します。

### 5. マスターチャンネルメーター (ステレオ)

マスターチャンネルレベルを表示する 12 x 2 LCD。

### 6. マルチカラーサラウンド LED 付きデュアルファンクションエンコーダ

デュアル機能エンコーダーは、押しボタンおよびロータリーコントロールとして作動します。エンコーダーを押すと、動作モードを変更したり、チャンネルストリップ上のディスプレイの表示内容を変更することができます。エンコーダーを回すと、そこに割り当てられている機能に応じて、チャンネル間のパンニングや送信レベルやプラグインパラメータが調整できます。

### 6a. エンコーダー LED

エンコーダーの周囲にある 11 個の LED が点灯して相対的な回転位置が表示されるので、コンピュータの画面を見る必要がありません。Cubase では、サラウンド LED の色が制御パラメータに応じて変わります。

### 7. 時間ディスプレイ

このディスプレイには、SMPTE または BBT フォーマットで、プロジェクトの時間ロケーションが表示されます。

### 8. 録音チャンネルコントロールボタンセクション

#### 8a) 録音チャンネルコントロールボタンセクション

**REC (録音) ボタン** - 対応するチャンネルの録音状態をオンオフします。チャンネルが録音状態になると、スイッチが赤く点灯します。

**SOLO (ソロ) ボタン** - 対応するチャンネルのソロ状態をオンオフします。チャンネルのソロ状態がオンになると、スイッチが緑色に点灯し、それ以外のチャンネルがミュートされます。別のチャンネルの SOLO ボタンを押すと、それらのチャンネルも同時にオンになります。

**MUTE (ミュート) ボタン** - 対応するチャンネルのミュート状態をオンオフします。チャンネルがミュート状態になると、スイッチが青く点灯します。青く点灯したチャンネルがミュートされます。

**SEL (選択) ボタン** - SEL ボタンを押すと DAW ソフトウェアの対応するチャンネルが起動し、特定の機能を実行することができます (例: 割り当て可能なエンコーダーで EQ を調整する場合、SEL スイッチを使って、調整したいチャンネルを選択することができます)。チャンネルを選択すると、対応する SEL スイッチの赤い LED が点灯します。

## 8b) モーター式フェーダーコントロールボタンセクション

**LOCK (ロック) ボタン** - モーター式フェーダーがすべてロックされます。

**FLIP (フリップ) ボタン** - FLIP ボタンを押すと、モーター式フェーダーとロータリーエンコーダー式つまみのパラメータ設定が入れ替わります。

**UP (アップ) ボタン** - 全部のフェーダーが、1 チャンネル分、上にシフトします (マスターチャンネルを除く)。

**DOWN (ダウン) ボタン** - 全部のフェーダーが、1 チャンネル分、下にシフトします (マスターチャンネルを除く)。

**BANK UP (バンクアップ) ボタン** - 全部のフェーダーが、8 チャンネル分、上にシフトします (マスターチャンネルを除く)。

**BANK DOWN (バンクダウン) ボタン** - 全部のフェーダーが、8 チャンネル分、下にシフトします (マスターチャンネルを除く)。

**Cancel ボタン** - DAW のキャンセル機能を有効にします。

**Enter ボタン** - DAW の入力機能を有効にします。

## 8c) ズームコントロールボタンセクション

**ZOOM (ズーム) ボタン** - 通常、ZOOM ボタンは、下で説明する矢印ボタンと一緒に、DAW アプリケーションウィンドウの中を拡大または縮小するために使用します。

**UP (アップ) ボタン** - UP ボタンは、DAW アプリケーションのグラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) のナビゲーション (上方向への移動) に使用します。あるいは、Zoom 機能と併用すると垂直方向に拡大します。

**DOWN (ダウン) ボタン** - DOWN ボタンは、DAW アプリケーションのグラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) のナビゲーション (下方向への移動) に使用します。あるいは、Zoom 機能と併用すると垂直方向に縮小します。

**LEFT (左) ボタン** - LEFT ボタンは、DAW アプリケーションのグラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) のナビゲーション (左方向への移動) に使用します。あるいは、Zoom 機能と併用すると水平方向に拡大します。

**RIGHT (右) ボタン** - RIGHT ボタンは、DAW アプリケーションのグラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) のナビゲーション (右方向への移動) に使用します。あるいは、Zoom 機能と併用すると水平方向に縮小します。

## 8d) ジョグホイールセクション

**ジョグホイール** - ジョグホイールは、シャトルやスクラブ機能など、DAW アプリケーション固有の目的に使用されます。

**スクラブボタン** - スクラブボタンは、ジョグホイールと一緒に使用されます。これを使うと、編集やオーディションなどの際に、選択されているオーディオトラックを「スクラブ再生」することができます。

## 8e) トランスポートコントロールボタンセクション

**PLAY (再生) ボタン** - DAW の再生機能を起動します。

**STOP (停止) ボタン** - DAW の停止機能を起動します。

**REC (録音) ボタン** - DAW の録音機能を起動します。

**REWIND (巻戻し) ボタン** - DAW の巻戻し機能を起動します。

**FAST FORWARD (早送り) ボタン** - DAW の早送り機能を起動します。

**LOOP (ループ) ボタン** - DAW のループ機能を起動します。

**マーカー・ボタン** - 次の各マーカー・モードを切り替えます。

**微調整** - 微調整モードを切り替えます。

**クリック** - メトロノームのクリックを録音または再生します。

**ドロップ** - 「ドロップ」を切り替えます。

**交換** - 「交換」を切り替えます。

**ソロ** - 選択されたトラックのトラック・ソロを切り替えます。

**保存** - DAW の保存機能を有効にします。

**元に戻す** - DAW の取り消し機能を有効にします。

## 9. DAW セレクターセクション

QconPro X の背面には、「自動検出 / 手動選択」スイッチがあります。

### 自動に切り替えた場合 (自動検出モード)

QconPro X は、自動的にインストールされている DAW アルミパネルを検出し、その DAW の設定を読み込みます。たとえば、Logic Pro™ のアルミパネルが QconPro X にインストールされている場合、Logic Pro の設定が自動的に読み込まれます。

(**ヒント**:異なる DAW に使用可能なオプションの DAW パネル: Nuendo/Cubase™, Samplitude™, Ableton Live™, Logic Pro™, Reaper™, Bitwig™, Studio One™, Reason™, Pro Tools™。)

### 手動に切り替えた場合 (マニュアル選択モード)

適切な DAW モードを選択することによって、QconPro X は選択された DAW の設定を自動的に読み込み、その DAW とシームレスに動作します。

**<</>> ボタン** - この矢印ボタンは、DAW リストのスクロールに使用されます。LCD には DAW の名称が表示されます。

**DAW ボタン** - これを押すと、DAW 選択モードになります。

Qcon ProX DAW モードを変更するには、電源スイッチを一旦オフにしてからオンにして、DAW 選択モードにします。「<<」と「>>」ボタンで、リストから希望の DAW を選択してください。

(**ヒント**: DAW のソフトウェアが実行されている場合、DAW ボタンを起動することはできません。)

(**ヒント**: Qcon ProX ファームウェアは随時更新されるので、現在のリストに表示されていない DAW が追加サポートされることがあります。当社の公式 HP をご覧の上、Qcon ProX ファームウェアをダウンロードして更新してください。)

(注意:「自動モード」がオンになっている場合 <</>> と DAW ボタンは無効となります。)

(注意: Qcon ProX は最後に選択された DAW モードを記憶し、スイッチを入れてから数秒後に同じモードを再入力します。(すなわち、最後に使用したモードを再使用する場合には、DAW モードを選択する必要はありません。)

## 10. サブコントロールボタン

制御ボタンに関するこのセクションの内容は、使用している DAW によって異なります。PVC オーバーレイまたはインストールされている DAW アルミパネルに関するテキストを参照してください。以下は Logic Pro に基づいた説明です。

### 10a) 割当セクション

トラック・ボタン - このボタンを押すと、それぞれ対応する DAW 機能が起動します。これらは通常、ロータリーエンコーダーつまみと一緒に使用されます。ボタンを押すとそのランプが点灯します。ロータリーエンコーダーつまみを回して値を調整してください。その値は、すぐ上の LCD に表示されます。

### 10b) 自動化セクション n

**グループ** - これを押すと「グループ」編集モードになります。

**READ/Off (読み込み) ボタン** - READ ボタンを押すと、現在のオーディオトラックの読み込み機能が起動します。

**WRITE (書き込み) ボタン** - WRITE ボタンを押すと、現在のオーディオトラックの書き込み機能が起動します。

**タッチ・ボタン** - これを押すと、選択されたトラックの自動化が「タッチ」になります。

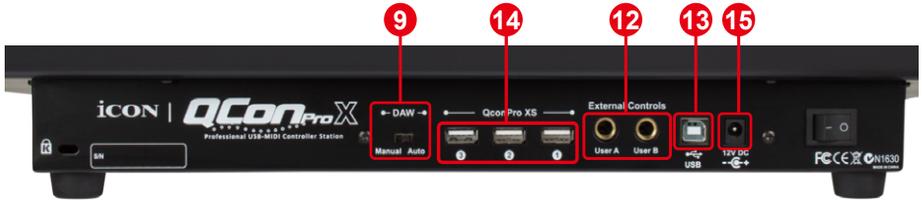
**ラッチ** - これを押すと、選択されたトラックの自動化が「ラッチ」になります。

**トリム** - 現在何も割り当てられていません。

## 11. ユーザー指定コントロールボタン

このセクションで説明するコントロールボタンは、Mackie コントロール (HUI mode) モードでユーザー指定されています。お好みに合わせてパラメータを設定することができます。設定パラメータを記入する PVC ラベルマスクが同梱されています。

# サイドパネルのレイアウト



## 12. ユーザー A およびユーザー B 用 RCA コネクター

この RCA コネクターにフットペダルを接続すると、そのフットペダルを使って、選択した機能を起動することができます。そのパラメータを設定するには、Mackie コントロールモードで、ユーザー A またはユーザー B のパラメータを選択します。

## 13. USB ポート

この USB ポートを介して、Mac/PC に Qcon Pro X を接続します。

## 14. 拡張ポート 3 つ

QconProXS などの拡張ユニットをこれらのポートに接続します。

## 9. 自動 / 手動スイッチ

DAW のトリガーモードを自動または手動に切り替えます。詳しくは、P.13 を参照してください。

## 15. 12V/2.5A 電源アダプター

ここに、付属の電源アダプターを接続します。

(**注意**: QconPro X は、付属の電源アダプターを接続しなければ動作しません。USB バス電源では、QconPro X を動作させるための十分な電源を供給することはできません。)

# 使用法

## QconPro X コントローラの接続

### 1. USB ポートを介して Mac/PC に QconPro X を接続する

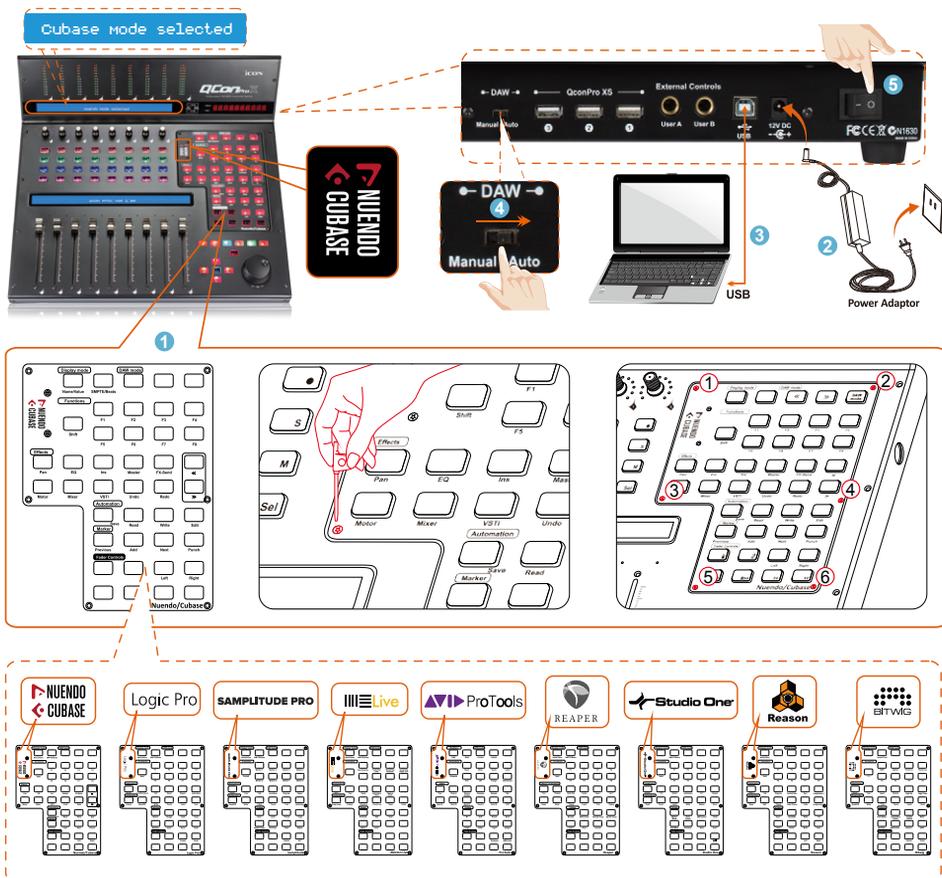
お手持ちの Mac/PC で USB ポートを選び、USB ケーブルの幅広（平ら）な端を差し込んでください。QconPro X に、ケーブルのもう一方の端を差し込んでください。Mac/PC は自動的に新しいハードウェアを検出し、画面に使用可能になったことが表示されます。

### 2. QconPro X で DAW を選択する

DAW モードの選択には、自動選択モードまたは手動選択モードを使用できます。QconPro X の背面には「自動/手動」スイッチがあります。自動モードの場合は「Auto」に切り替えてください。以下の手順に従って DAW を手動で選択したい場合は、「Manual」に切り替えてください：

#### 2.1 Auto モードの場合

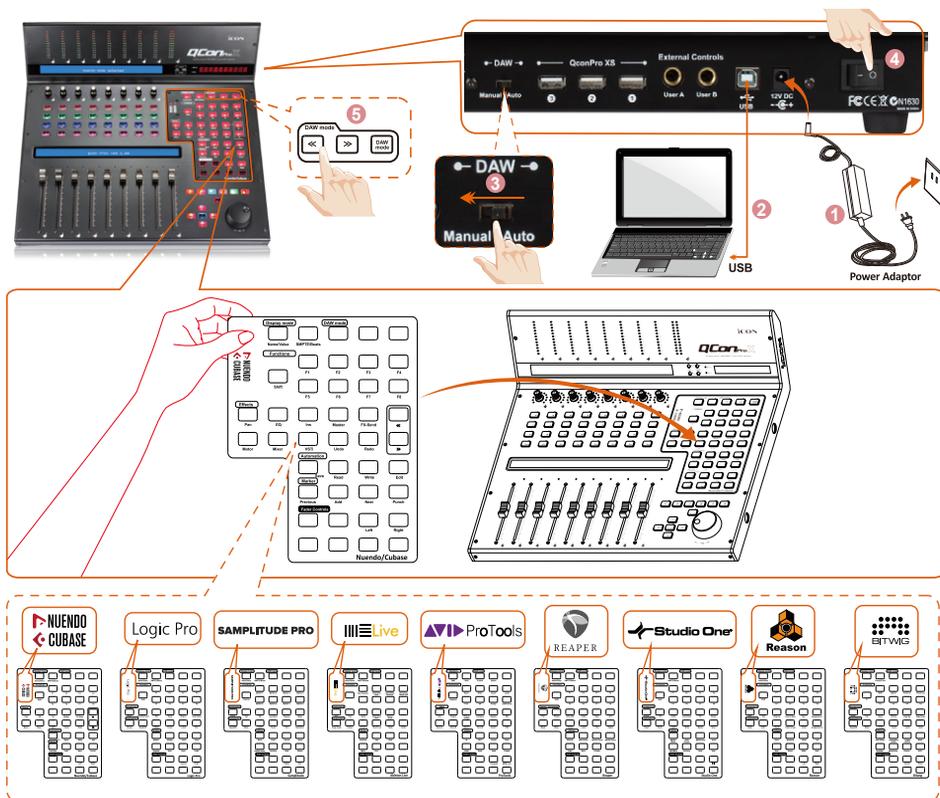
QconPro X を「Auto」モードに切り替えた場合。電源スイッチを入れたら、QconPro X はインストールされている DAW アルミパネルに応じて DAW 設定をトリガーします。何も選択する必要はありません。



## 2.2 Manual モードの場合

QconPro Xを「Manual」モードに切り替えた場合。電源スイッチを入れると、LCDにDAWモードの選択を求めるメッセージが表示されます。<</>を押してDAWリストをスクロールし、「DAW」をクリックして選択を確定します。

**ヒント:** QconPro Xは最後に選択されたDAWモードを記憶し、スイッチを入れてから数秒後に同じモードを再入力します。(すなわち、最後に使用したモードを再使用する場合には、DAWモードを選択する必要はありません。)



### 3. DAW のセットアップ

QconPro Xには、Mackie Control と HUI プロトコルが内蔵されています。そのため DAW でデバイスを設定する際に起こり得るトラブルを避けることができます。お使いのソフトウェアの「MIDI コントローラー」に「Mackie Control」または「HUI」デバイスを追加します。Mackie Control または HUI デバイスを追加したら、お使いの DAW の MIDI 入出力デバイスとして QconPro X コントローラーを選択します。

以下のソフトウェアには、Mackie Control を使用してください

Nuendo/Cubase™、Logic Pro™、Samplitude™、Bitwig™、Reason™、Reaper™、Studio One™、Ableton Live™。

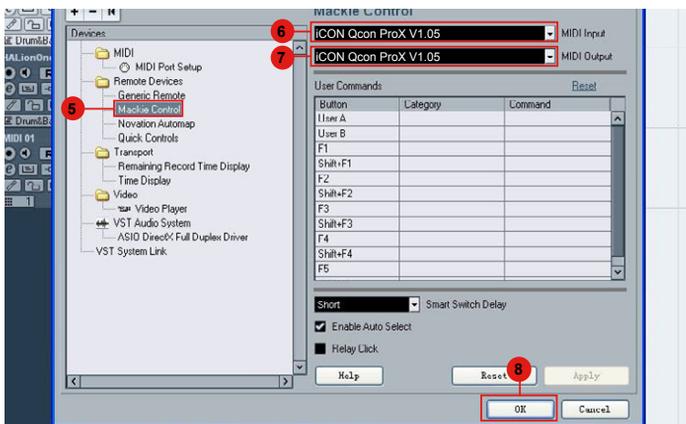
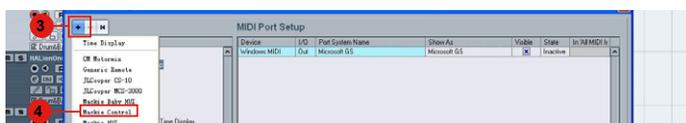
以下のソフトウェアには、HUI を使用してください

Pro Tools™。

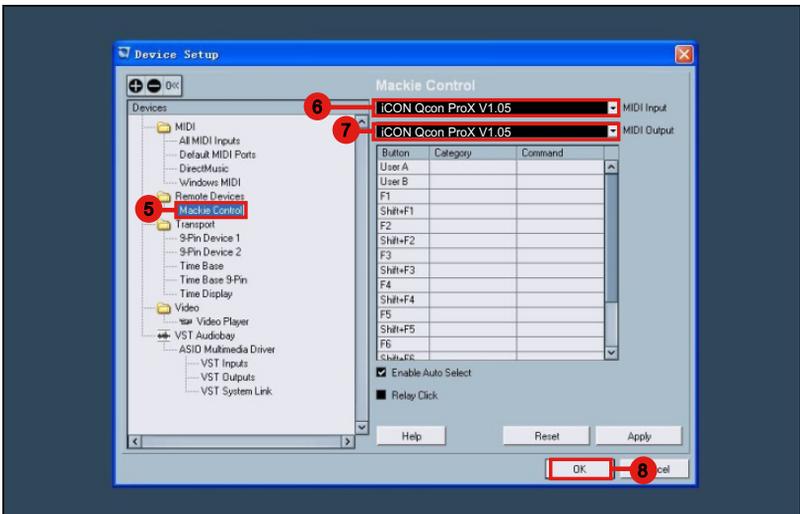
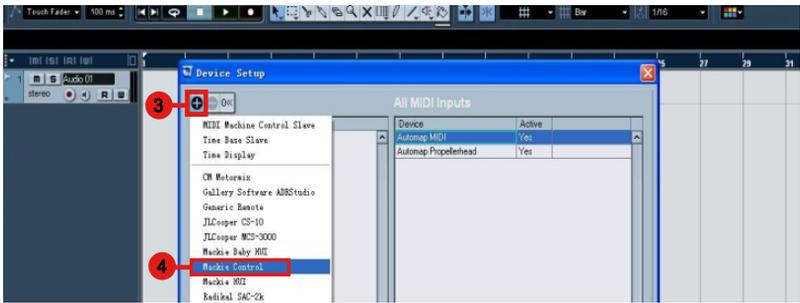
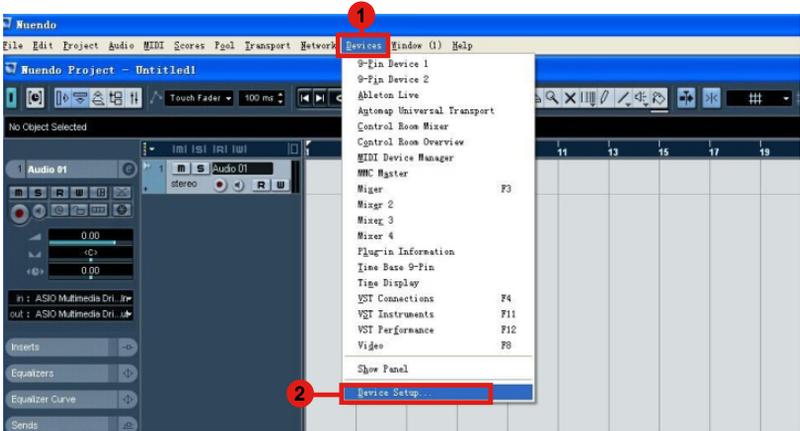
( **ヒント**: 当社のウェブサイト ([www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)) もご覧ください。また、各コントローラー (QconPro X) 製品ページの「Setup デモ」セクションには、種々の DAW の設定法を示した図が記載されています。

Setup デモリストに掲載されていない DAW に関しては、お使いのソフトウェアのユーザーマニュアルでハードウェアの設定を参照してください。)

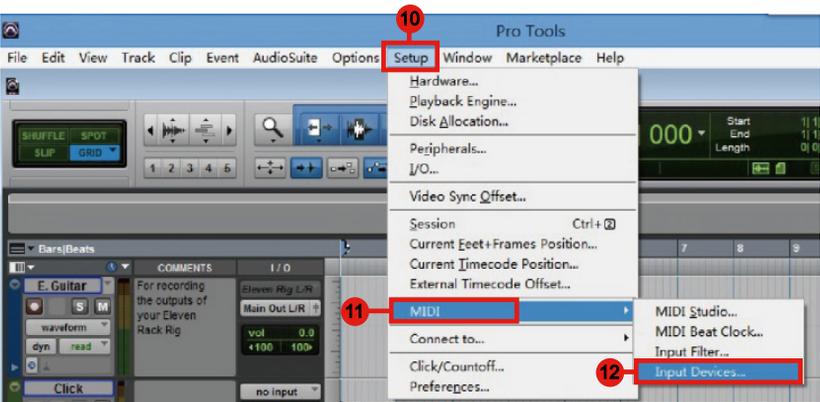
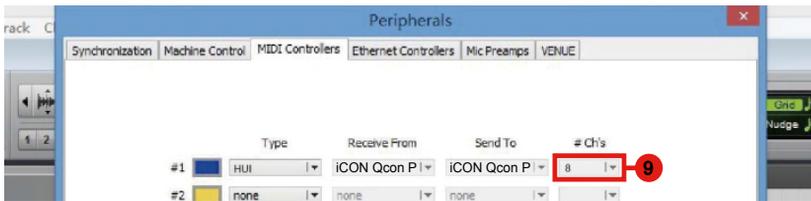
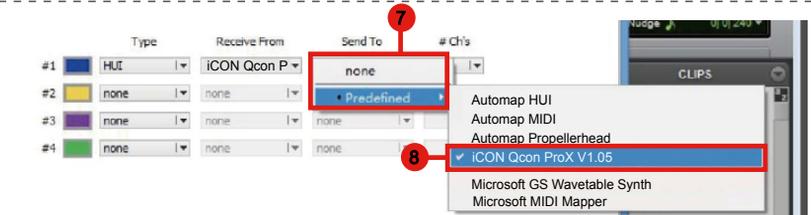
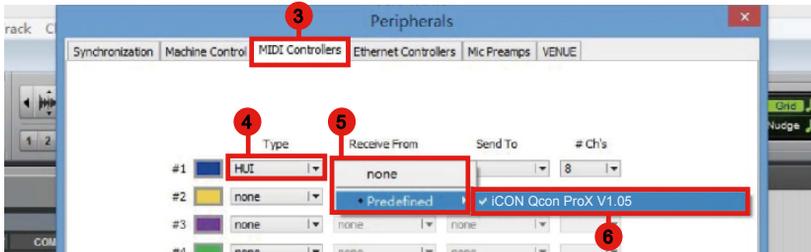
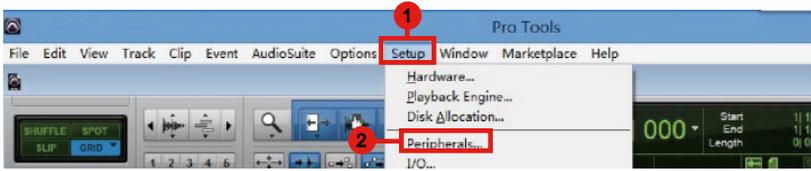
## Cubase

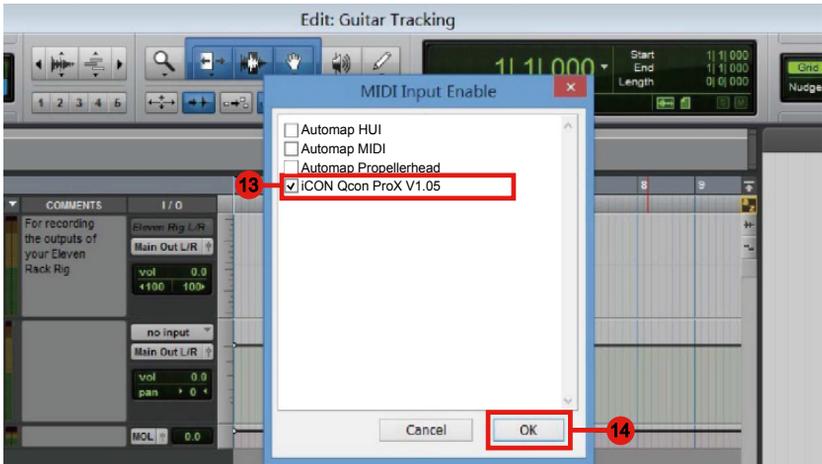


# Nuendo

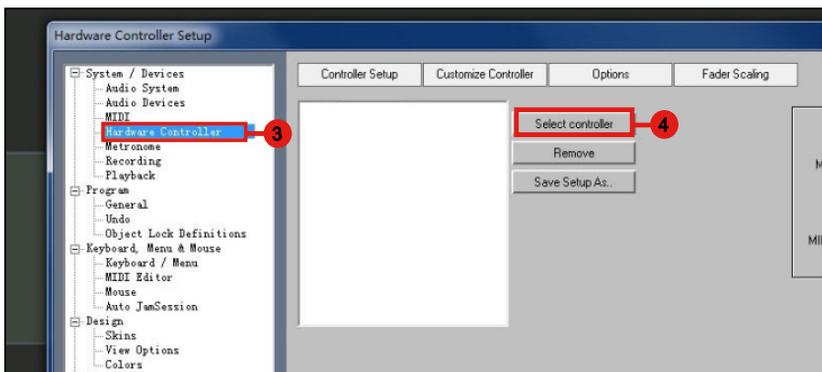
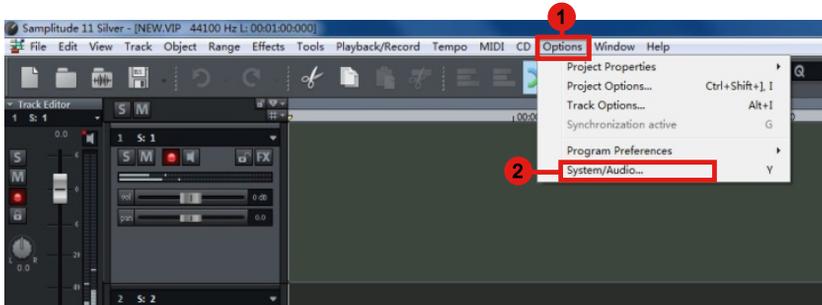


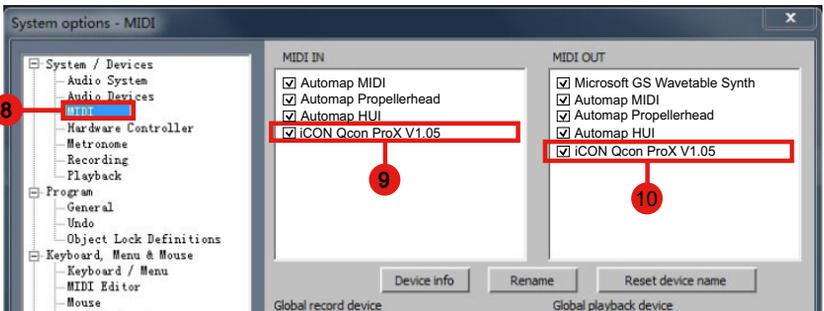
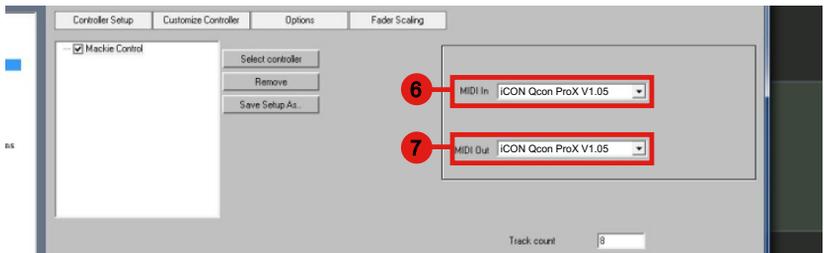
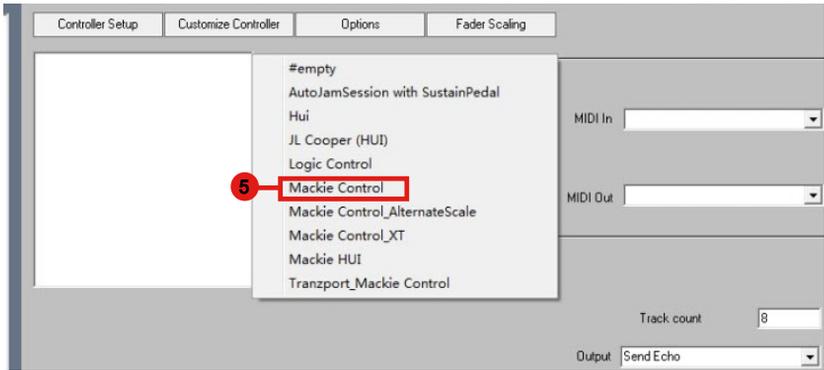
# Logic Pro



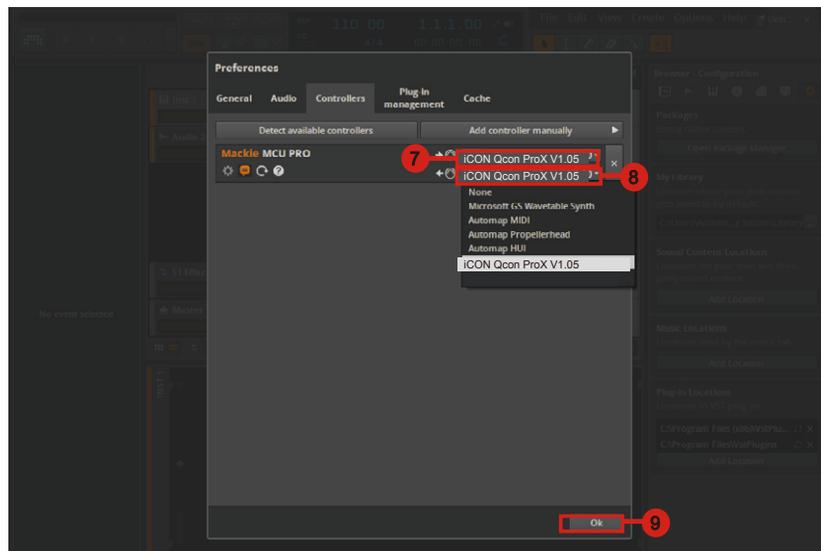
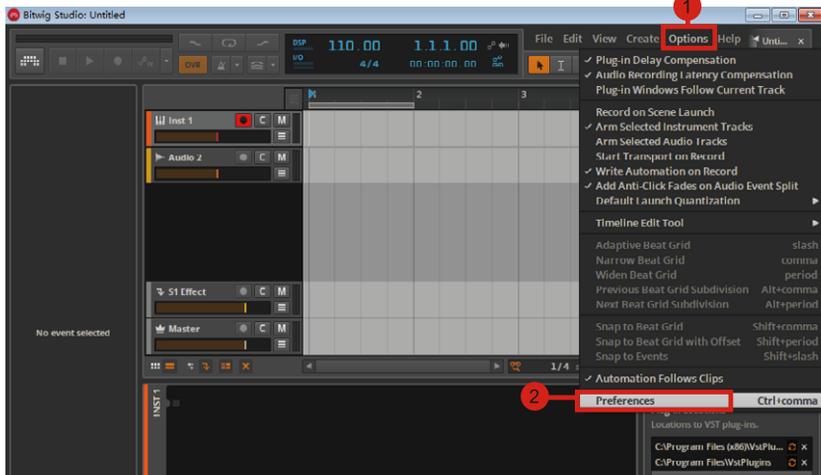


## Samplitude

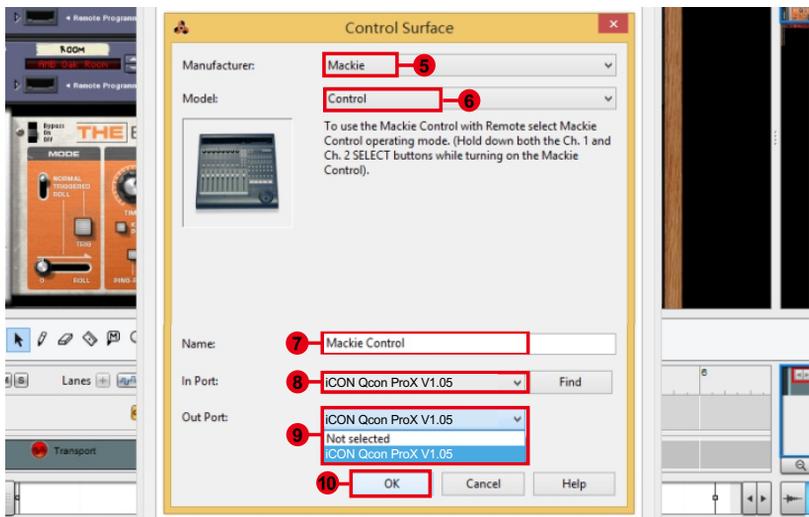
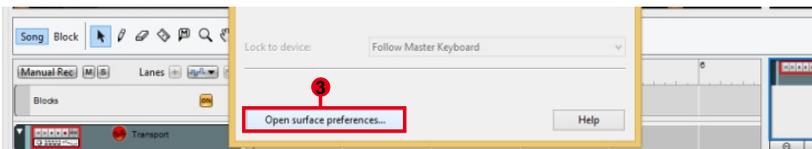
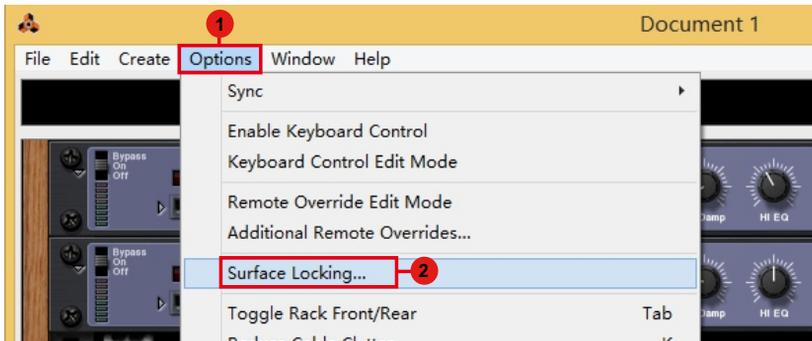




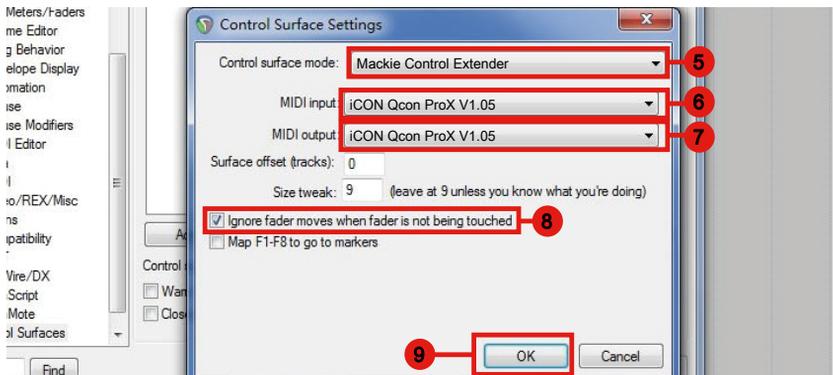
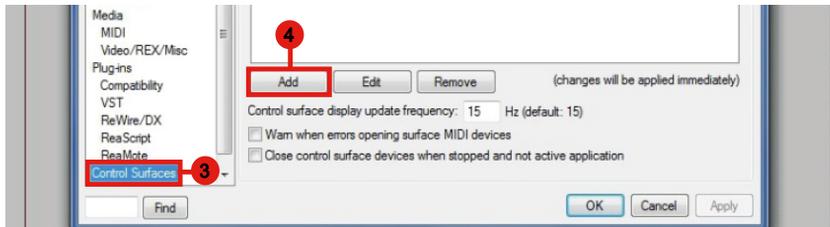
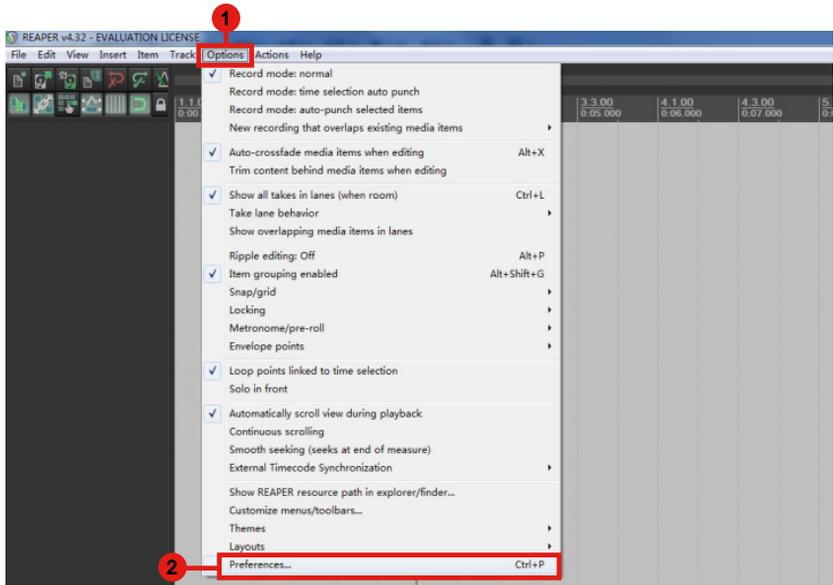
# Bitwig



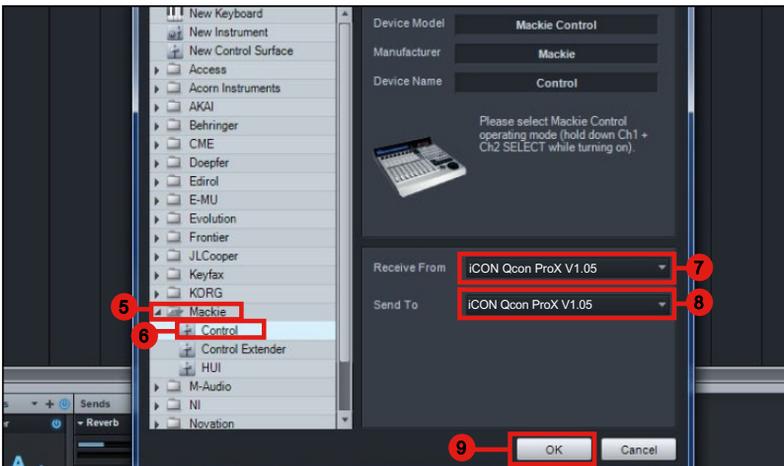
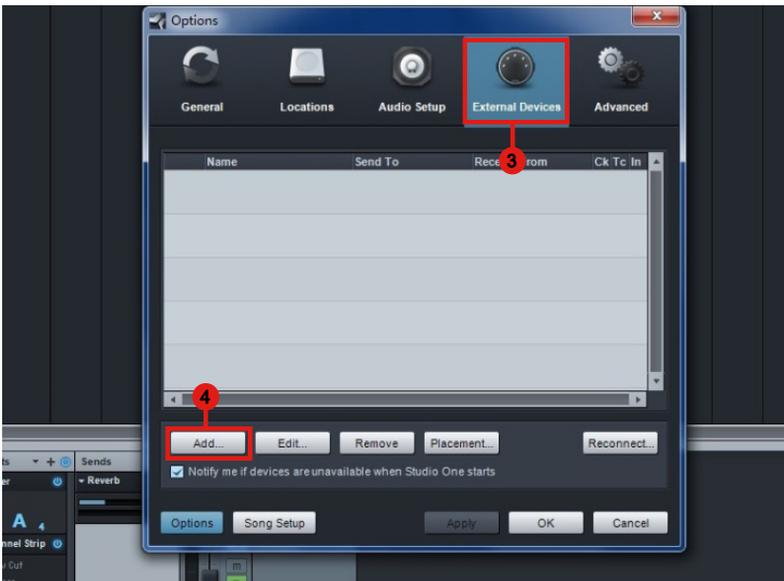
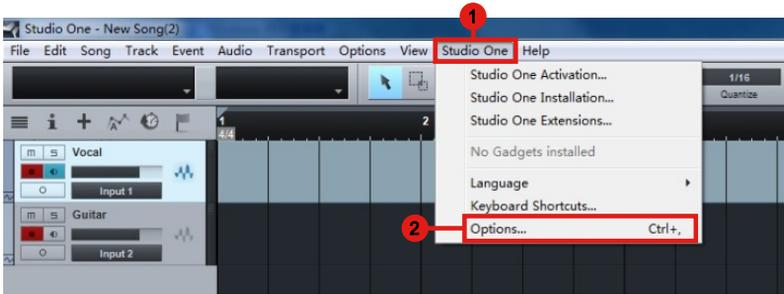
# Reason



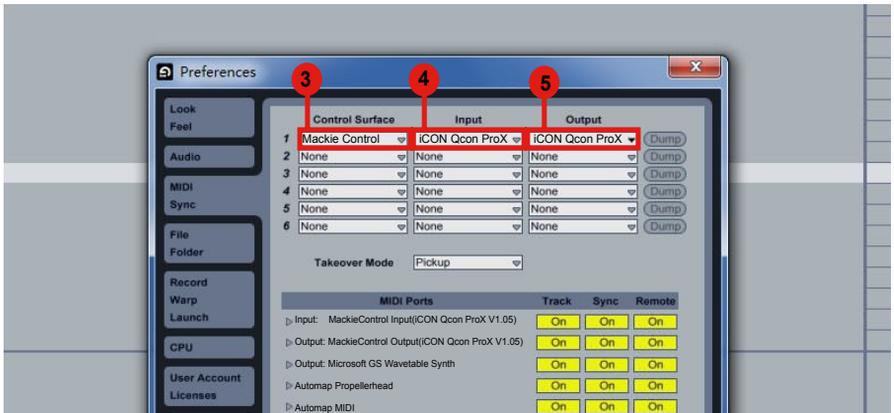
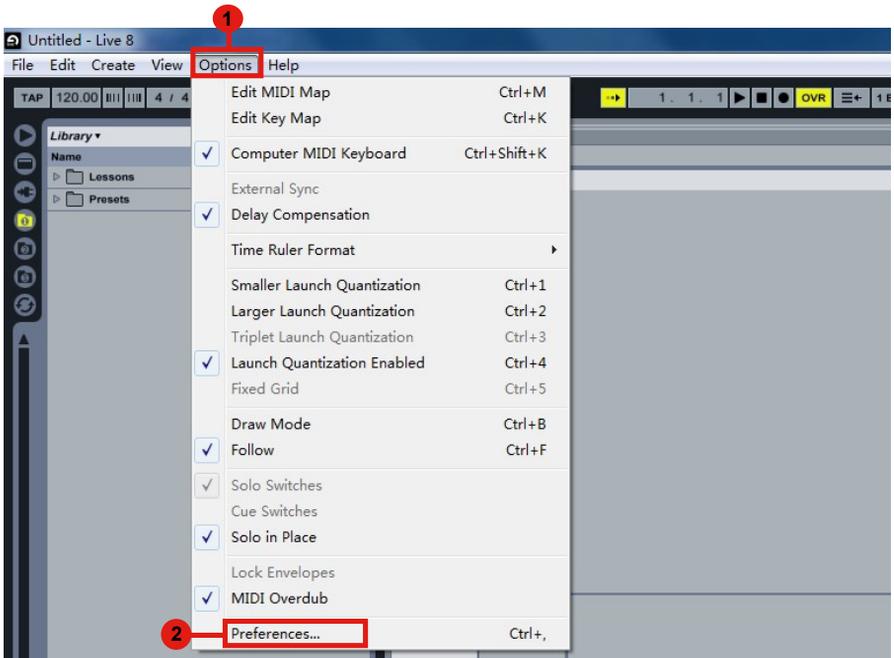
# Reaper



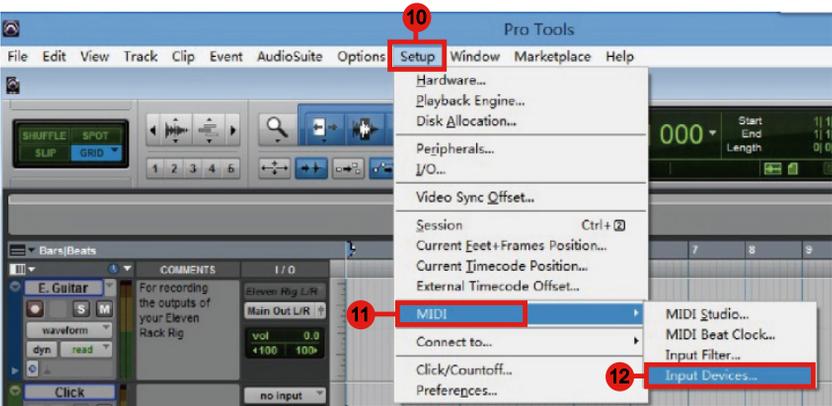
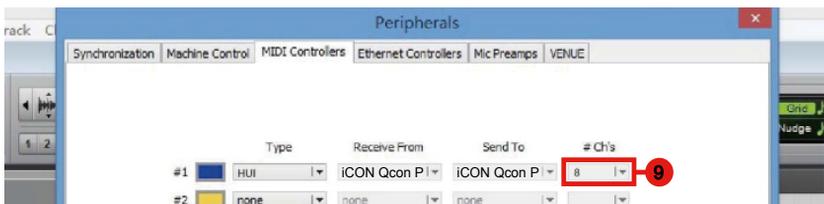
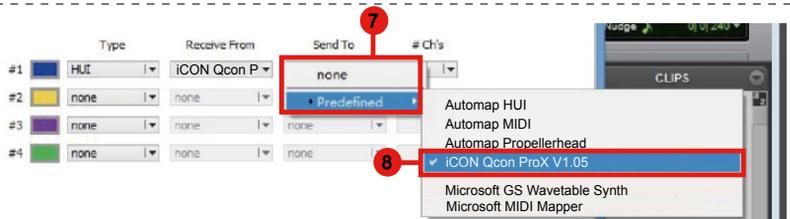
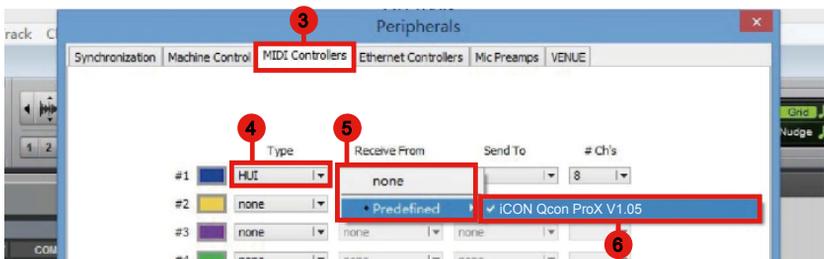
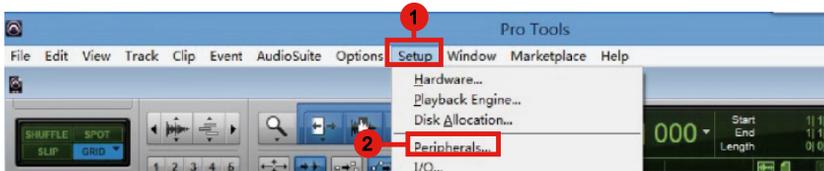
# Studio One

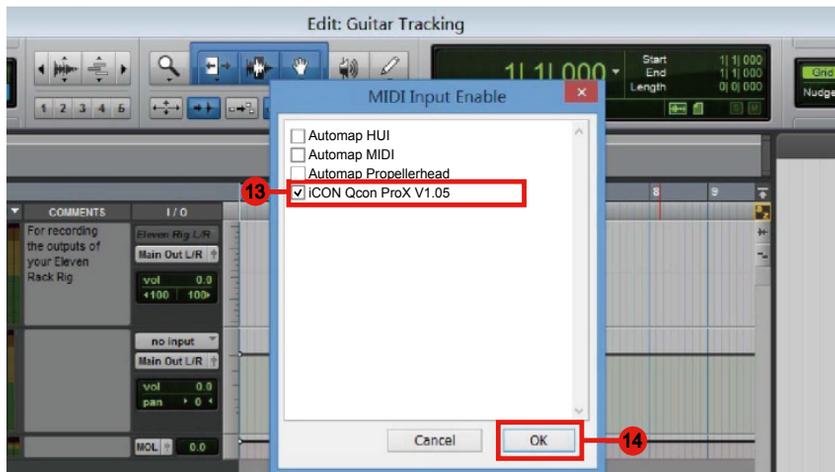


# Ableton Live



# Pro Tools





# Mac OS X に iMap™ をインストールする

Mac OS X をご利用の場合は、以下の手順で iMap™ ソフトウェアをインストールしてください。

1. CD-ROM ドライブにユーティリティ CD を挿入し、「QconPro X iMap」アイコンをダブルクリックします。



**ヒント:** 「Applications」フォルダに「QconPro X iMap」アイコンを「ドラッグ・アンド・ドロップ」すると、お使いのMacのデスクトップに「iMap」ショートカットが作成されます。

# Windows に iMap™ をインストールする

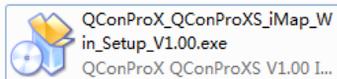
Windows をご利用の場合は、以下の手順で iMap™ ソフトウェアをインストールしてください。

1. コンピューターの電源を入れます。
2. ユーティリティ CD を、お手持ちのコンピューターの CD-Rom ドライブに挿入します。

CD を CD-Rom ドライブに挿入すると、図 1 のインストール画面が表示されますので、「インストール」をクリックします。

(**注意**：インストール画面が自動的に表示されない場合は、CD フォルダを開き、「Setup」という名前のアイコンをクリックしてください。)

(**メモ**：当社のウェブサイトからファイルをダウンロードした場合は、ファイルを解凍して、設定アイコンをクリックしてください。)



3. インストール先を選択します。

既定のインストール先のまま、あるいはお好みのインストール先を選択してから「次へ」をクリックします。



図 1



図 2

4. ショートカットを選択します。

iMap™ のショートカットを作成したいスタートメニュー・フォルダを選択します。「次へ」をクリックして続行します。

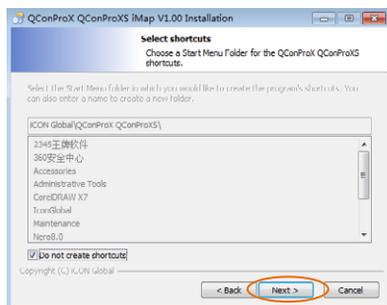


図 3

## 5. デスクトップにショートカット・アイコンを作成します。

iMap™ のショートカット・アイコンをデスクトップに作成したくない場合は、チェックボックスのチェックを外してください。それ以外の場合は、そのまま「次へ」をクリックしてください。

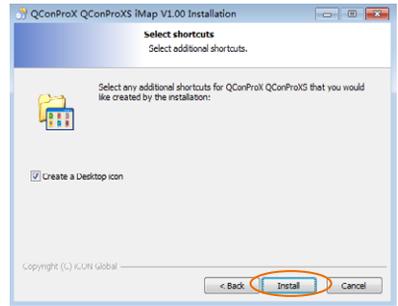


図 4

## 6. iMap™ のインストールが開始されます。

これで iMap™ のインストールが開始されます。インストールが完了するまでお待ちください。完了したら「次へ」をクリックして続行します。



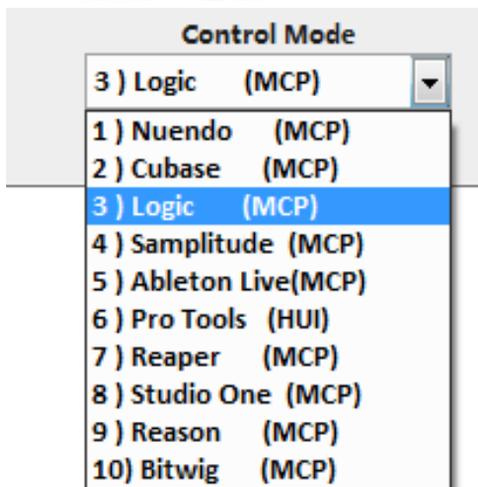
図 5

## 7. iMAP ソフトウェアを起動するデスクトップ上の iMAP ロゴをクリックしてください。



図 6

# iMap™ による DAW モードの割り当て (Mackie Control/HUI) または MIDI 機能の定義

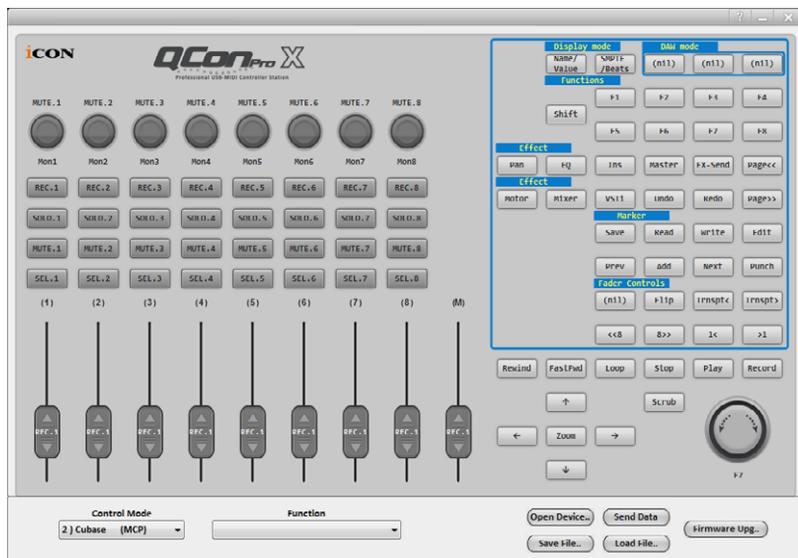


QconPro X の設定方法は 2 つあります。一般に、使用する DAW に応じて Mackie Control/HUI プロトコルで予めマッピングされた DAW モードに、デバイスを設定するのが簡単かつ迅速な方法です。デバイスには、以下のような DAW Mackie/HUI プロトコルが内蔵されています：

1. Nuendo (Mackie 制御プロトコル) – Nuendo 用
2. Cubase (Mackie 制御プロトコル) – Cubase 用
3. Logic (Mackie 制御プロトコル) – Logic Pro X 用
4. Samplitude (Mackie 制御プロトコル) – Samplitude Pro 用
5. Ableton Live (Mackie 制御プロトコル) – Ableton Live 用
6. ProTools (HUI 制御プロトコル) – Pro Tools 用
7. Reaper (Mackie 制御プロトコル) – Reaper 用
8. Studio One (Mackie 制御プロトコル) – Studio One 用
9. Reason (Mackie 制御プロトコル) – Reason 用
10. Bitwig (Mackie 制御プロトコル) – Bitwig 用

あるいは、iMap 機能のプルダウンメニューにあるご自分の MIDI メッセージを使って、QconPro X に各制御エレメントを定義することができます。ただし、DAW の MIDI 構造を十分に理解していないと、設定が非常に困難になる可能性があります。当社では、最も一般的なユーザーの基本設定に応じてプログラムされ、ユーザーのニーズに適していると思われるプレマッピングされた DAW モードの使用を強くお勧めしています。

# iMap™を使った DAW モード (Mackie control/HUI) の割り当て



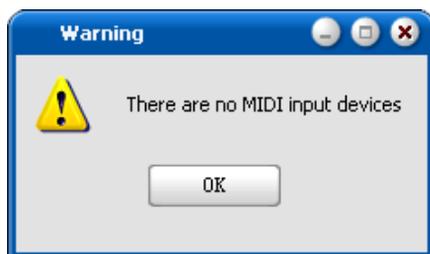
## iMap™ QconPro X ソフトウェア・パネル

**ヒント:** DAW モードの選択には、iMap の代わりにハードウェアを使用することもできます。指示については P.13-14 を参照してください。

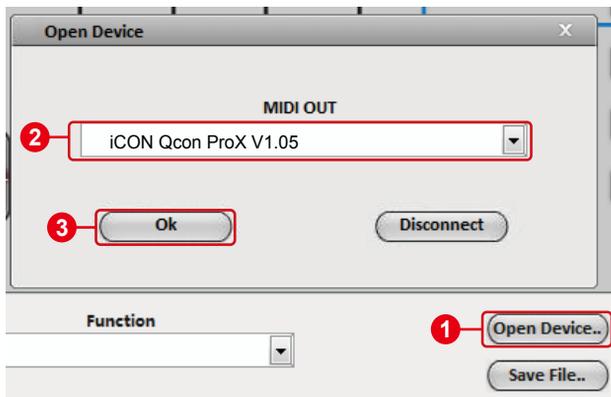
DAW モードの設定を開始するには、iMap を使って QconPro X を接続します。以下の手順に従ってください：

1. QconPro X をお使いの Mac/PC に接続します。
2. iMap を起動して「Connect Device」をクリックします。

**注意:** ご利用の QconPro X がコンピューター (Mac/PC) に接続されていない場合、「MIDI 入力デバイスがありません」というメッセージが表示されますので、QconPro X を USB ポートでコンピューター (Mac/PC) に接続してください。

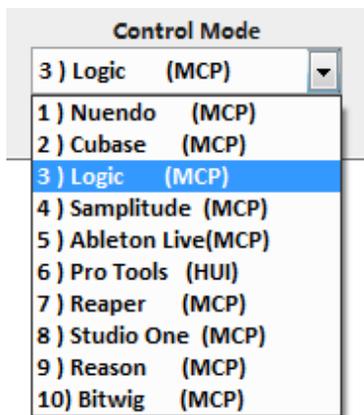


3. ポップアップメニューから、MIDI 出力デバイスとして「QconPro X」を選択します。



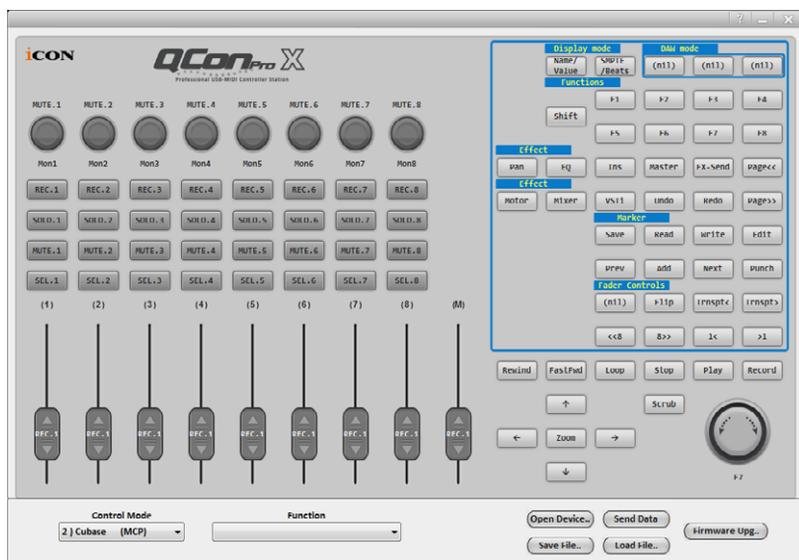
4. お使いの DAW に応じて、「モード」プルダウンメニューから DAW Mackie/HUI プロトコルモードを選択します。異なる DAW モードは以下のリストをご覧ください：

1. Nuendo (Mackie 制御プロトコル) – Nuendo 用
2. Cubase (Mackie 制御プロトコル) – Cubase 用
3. Logic (Mackie 制御プロトコル) – Logic Pro X 用
4. Samplitude (Mackie 制御プロトコル) – Samplitude Pro 用
5. Ableton Live (Mackie 制御プロトコル) – Ableton Live 用
6. ProTools (HUI 制御プロトコル) – Pro Tools 用
7. Reaper (Mackie 制御プロトコル) – Reaper 用
8. Studio One (Mackie 制御プロトコル) – Studio One 用
9. Reason (Mackie 制御プロトコル) – Reason 用
10. Bitwig (Mackie 制御プロトコル) – Bitwig 用



5. すべての設定を作成し終わったら「Send Data」をクリックします。
6. iMap を閉じます。

# iMap™ を使用したユーザー定義モードでの MIDI メッセージの割り当て

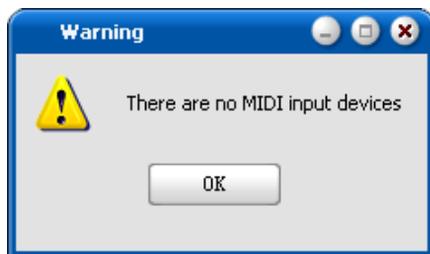


## iMap™ QconPro X ソフトウェア・パネル

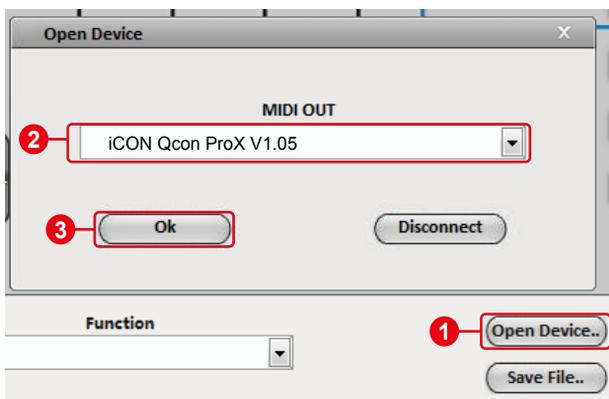
「User-Defined Mode」モードの設定を開始するには、iMap を使って QconPro X を接続します。以下の手順に従ってください：

1. QconPro X をお使いの Mac/PC に接続します。
2. iMap を起動して「Connect Device」をクリックします。

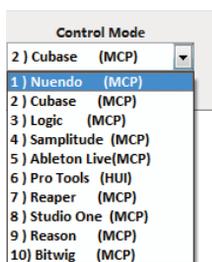
**注意：**ご利用の QconPro X がコンピューター（Mac/PC）に接続されていない場合、「MIDI 入力デバイスがありません」というメッセージが表示されますので、QconPro X を USB ポートでコンピューター（Mac/PC）に接続してください。



3. ポップアップメニューから、MIDI 出力デバイスとして「QconPro X」を選択します。



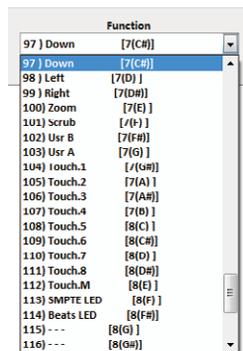
4. ① 使用する DAW の DAW モードを選択します。② 次に、ボタン、つまみ ( 回す / 押す )、フェーダーなど、新しい MIDI 機能を割り当てたい制御エレメントを選択します。③ 制御エレメントを選択したら、「機能」プルダウンメニューから機能を選択します。ユーザー定義モードの各制御エレメント設定については、下記をご覧ください。



①



②

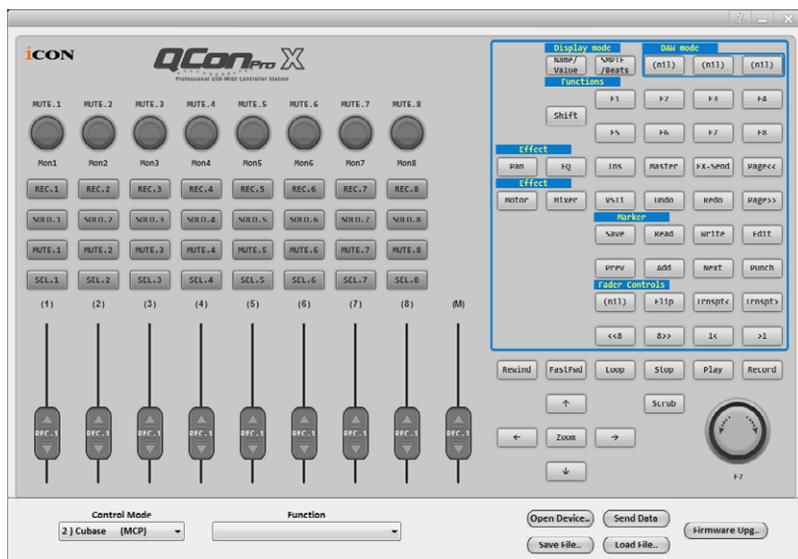


③

5. すべての設定を作成し終わったら「Send Data」をクリックします。  
6. iMap を閉じます。

# ユーザー定義モードでの制御エレメント設定

## iMap™ QconPro X ソフトウェア・パネル



プラットフォーム M では、フェーダー、つまみ、ボタン、ジョグホイールなどの制御機能を使って独自の MIDI メッセージを設定できます。メッセージのタイプは「ピッチ」、「メモ」、「プログラム」、「CC」の 4 つの値があり、制御エレメントに応じて選択可能です。使用できる制御の設定値は、下の表を参照してください。

また、お使いの DAW に応じて適した制御プロトコル (MCP または HUI) を選択し、プラットフォーム M と DAW 間の通信を確立することもできます。異なる DAW に推奨される制御プロトコルについては、下の表を参照してください。

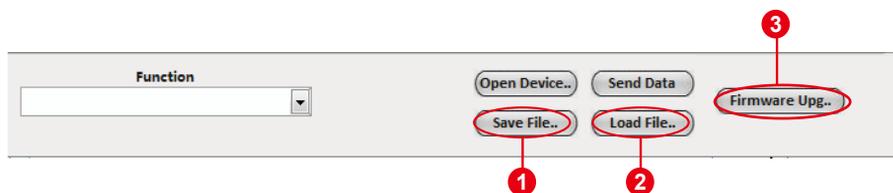
### 「異なる DAW に推奨されるプロトコル」

Nuendo	MCP
Cubase	MCP
Logic Pro X	MCP
Samplitude Pro	MCP
Ableton Live	MCP
Pro Tools	HUI
Reaper	MCP
Studio One	MCP
Reason	MCP
Bitwig	MCP

「制御エレメントチャート」

Control protocol	Control	Element	Available MIDI message setting values		
			Message type	Channel	Message
MCP	Faders	Slide	Pitch	1-16	0-127
		Touch sensitive	Note	1-16	C(-1) to G(9)
			CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
			Program	1-16	0-127
HUI	Slide	CC	-	Volume 1 to X-fader touch master	
	Touch sensitive	CC	-	Volume 1 to X-fader touch master	
MCP	Knobs	Rotate	CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
		Enter	Note	1-16	C(-1) to G(9)
			CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
			Program	1-16	0-127
HUI	Rotate	CC	-	Volume 1 to X-fader touch master	
	Enter	CC	-	Volume 1 to X-fader touch master	
MCP	JogWheel	Rotate counter-clockwise	Note	1-16	C(-1) to G(9)
			CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
			Program	1-16	0-127
		Rotate clockwise	Note	1-16	C(-1) to G(9)
			CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
			Program	1-16	0-127
		Enter	Note	1-16	C(-1) to G(9)
			CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
			Program	1-16	0-127
HUI	Rotate counter-clockwise	-	-	-	
	Rotate clockwise	-	-	-	
	Enter	-	-	-	
MCP	Buttons	All buttons except "Lock" button	Note	1-16	C(-1) to G(9)
			CC	1-16	Bank MSB to Poly Mode On
			Program	1-16	0-127
HUI	All buttons except "Read", "Write", "Lock", "Hori-Zoom" & "Vert-Zoom"	CC	-	Volume 1 to X-fader touch master	

# iMap™ のその他の機能



## 1. 「ファイルの保存」ボタン

このボタンをクリックして、現在の QconPro X の設定を保存します。保存ファイルの拡張子は「.QconPro X」です。

## 2. 「ファイルを開く」ボタン

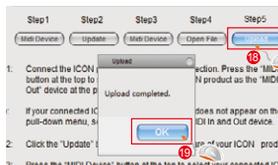
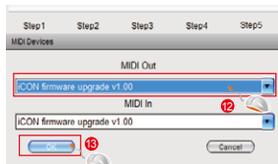
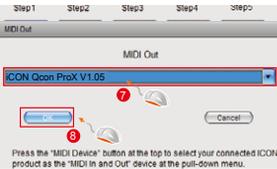
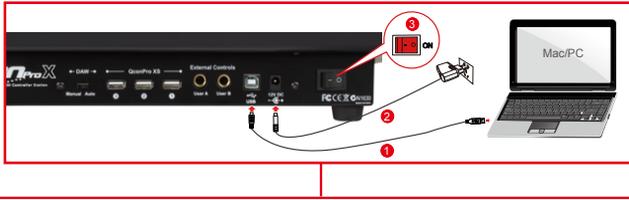
このボタンをクリックして、保存された QconPro X の「.QconPro X」設定ファイルを開きます。

## 3. 「ファームウェア・アップグレード」ボタン

このボタンをクリックすると、QconPro X のファームウェア・アップグレード・ウィンドウに進みます。ファームウェア・アップグレードの手順については、38 ページをご覧ください。

# ファームウェアのアップグレード

## QconPro X functional firmware upload procedure



1. Connect the QconPro X product using a USB connection. Press the 'MIDI In/Out' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

2. Click the 'Update' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

3. Press the 'MIDI Device' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

4. Click the 'Update' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

5. Press the 'MIDI Device' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

6. Click the 'Update' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

7. Press the 'MIDI Device' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

8. Click the 'Update' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

9. Press the 'MIDI Device' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

10. Click the 'Update' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

11. Press the 'MIDI Device' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

12. Click the 'Update' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

13. Press the 'MIDI Device' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

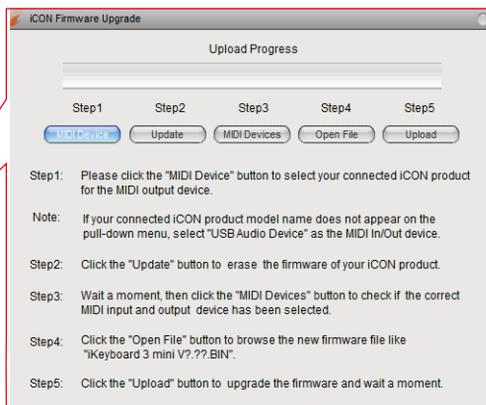
14. Click the 'Update' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

15. Press the 'MIDI Device' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

16. Click the 'Update' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

17. Press the 'MIDI Device' button at the top to select your connected QconPro X product as the 'MIDI In/Out' device at the pull-down menu.

## Firmware Upg..



付属の USB ケーブルを使って QconPro X をお使いの Mac/PC に接続し、iMap を起動します。「Firmware Upgrade」をクリックしてウィンドウを起動し、細心の注意を払いながら以下の手順に従ってアップグレードします。

**警告：** ファームウェアのアップロード処理は中断せずに最後まで完了してください。アップロード処理を中断するとユニットを復元することができなくなり、サービスセンターで修理を行わなければ、本機を再起動できなくなる可能性があります。

**手順 1:** 上にある最初の「MIDI Device」ボタンをクリックして、QconPro X を MIDI 出力デバイスとして選択してください。

**注意：**プルダウンメニューに QconPro X が表示されない場合は、「USB Audio Device」を MIDI 入力 / 出力デバイスとして選択してください。

**手順 2:** 「Update」をクリックして、ファームウェアを削除します。ファームウェアが正常に削除されると、ポップアップメッセージが表示されます。

**手順 3:** ユニットが完全に再起動するまでしばらくお待ちください。再起動したら、3 つ目の「MIDI Devices」ボタンをクリックして、適切な MIDI 入出力デバイスが選択されていることを確認します。

**手順 4:** 「Open File」をクリックして、「QconPro X V1.00.BIN」などの新しいファームウェアを見つけます。

**手順 5:** 「Upload」をクリックしてファームウェアをアップグレードし、処理が完了するまで待ちます。

## デフォルト工場設定に戻す

QconPro X 設定を出荷時の設定に復元するには、iMap を起動し、以下の手順に従って元の設定 (すなわち、変更前の設定) をデバイスにインポートします。

1. 付属の USB ケーブルを使って QconPro X を接続し、iMap ソフトウェアを起動します。
2. 「MIDI Device」ボタンをクリックして、「QconPro X」を MIDI 入出力デバイスとして選択します。  
**注意：**プルダウンメニューに QconPro X が表示されない場合は、USB オーディオを MIDI 入出力デバイスとして選択してください。
3. 「Send Data」をクリックして、QconPro X に設定をアップロードします。
4. iMap を閉じてから、QconPro X の電源を一度切って入れ直します。

# 製品仕様

接続端子:	コンピューター出力 コンピューターへ	USB コネクタ (標準) USB コネクタ (B タイプ)
電源供給:		12V/2.5A DC
消費電力:		最大 2.0A
重量:		6kg (13.2lb)
寸法:		473(L) x 416(W) x 188(H)mm 18.62"(L) x 16.38"(W) x 7.4"(H)

# 修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

以下のような情報、知識、ダウンロードについては、当社のオンラインヘルプセンター (<http://support.iconproaudio.com/hc/en-us>) でご確認ください

1. FAQ (よくあるご質問)
2. ダウンロード
3. 詳細情報
4. フォーラム

必要な情報のほとんどが、こちらのページに記載されています。お探しの情報が見つからない場合は、下のリンクからオンライン ACS (自動カスタマーサポート) でサポートチケットを作成してください。当社のテクニカルサポートチームがお手伝いいたします。

不良品を修理・交換のために返送する場合：

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。下のリンクから、当社のサービスセンターおよび販売店の所在地をご覧ください：

香港にお住まいの場合は、  
製品をこちらまで返送してください：

ICON (Asia) Corp:  
Unit F, 15/F., Fu Cheung Centre,  
No. 5-7 Wong Chuk Yueng Street, Fotan,  
Sha Tin, N.T., Hong Kong.

ヨーロッパにお住まいの場合は、  
製品をこちらまで返送してください：

Servicecenter-Siedler  
Am alten Bach 18  
41470 Neuss  
Germany  
Tel: +49 2137 7864212  
[www.servicecenter-siedler.de](http://www.servicecenter-siedler.de)  
[www.facebook.com/ServiceCenterSiedler](http://www.facebook.com/ServiceCenterSiedler)

5. その他更新情報は、弊社ウェブサイト ([www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)) をご覧ください。



**i**CON<sup>®</sup>

[www.iconproaudio.com](http://www.iconproaudio.com)

[support@icon-global.com](mailto:support@icon-global.com)

